



皆様へ 重要なお知らせ

「21世紀出生児縦断調査」は 次回（令和8年）の調査（16歳）から **文部科学省と厚生労働省の共管調査** へと変わります

「21世紀出生児縦断調査（平成22出生児）」へのご協力、ありがとうございます。

本調査は、これまでお子様の成長の様子や環境の変化などの状況を明らかにして、少子化対策など、厚生労働省のさまざまな施策に活用することを目的として続けてまいりました。

お子様が16歳になる令和8年の次回調査からは、これまでの目的のみならず、学校生活の様子や就業への意識などの状況を明らかにし、教育面を含む国の施策に活用することを目的として、

文部科学省と厚生労働省の共管調査へと変わり、調査票は文部科学省から7月（予定）にお送りします。

詳しくは2ページ、3ページをご覧ください



令和 8 年からの調査について、 次のようなご質問にお答えします。

Q1 「共管調査」とは何ですか？

A 「共管調査」とは、文部科学省と厚生労働省が協力して行う調査のことをいいます。調査の内容や結果の分析などにおいて、両省が一緒に考え、実施することにより、より幅広い施策に役立ててまいります。

Q2 なぜ共管調査になるのですか？

A 令和 8 年にはお子様が中学校等を卒業され、進学や就職など、進路も多様化していきます。これを機に、これまでの少子化対策という目的のみならず、お子様を取り巻く環境の変化がその後の進路選択等に与える影響を明らかにし、より幅広い施策に活用することを目的として、共管調査となります。

厚生労働省と文部科学省が協力することにより、より良い調査にしていきたいと思いますので、目的をご理解いただき、引き続き、ご協力をお願いいたします。

Q3 共管調査になると、何が変わるのでしょうか？

A 調査票は、令和 8 年調査（第16回）より、文部科学省からお送りします。

また、お子様の年齢にあわせて、調査項目が学校生活や進路、就業に関する事などに変更になります。調査票が本人用と保護者用の 2 種類であることに変更はありません。

Q4 調査の時期は変わりますか？

A 令和 7 年までは毎年 5 月に調査票をお送りしていましたが、令和 8 年調査（第 16 回）からは、過去の類似調査の結果との比較をより効果的に行うため、毎年 7 月に変更される予定です。

なお、7 月の調査時期から変更がある場合は、別途、文部科学省からお知らせいたします。

Q5 調査の方法は変わりますか？

A 引き続き、オンライン調査または紙の調査票で回答いただく方法となります。
なお、令和8年はお子様が16歳になり、進学や就職等で親元を離れる場合も増えることから、先行してオンライン調査回答用のID・パスワードをお送りし、オンラインで回答のなかった方について、紙の調査票もお送りする予定です。

Q6 秘密は守られますか？ (文部科学省が調査をすることで、学校などに回答内容が 知られることはないでしょうか？)

A 秘密は守られます。お答えいただいた内容は「統計法」という法律により秘密の保護が徹底されており、これは厚生労働省でも文部科学省でも同じです。

回答内容は統計を作るためだけに使われ、1人1人のプライバシー情報が他に漏れることは決してありませんので、安心してありのままをお答えくださいますよう、お願いいたします。

Q7 来年の春までに引っ越しを予定していますが、新しい住所はどこに連絡すればいいですか？(※ 海外への転居を含む。)

A 文部科学省から令和8年調査(第16回)のお願いに係る書類が送付されてくる(調査時期はP.2の「Q4」参照)までの間は、今までどおり、同封の「住所変更連絡用はがき」をお送りいただくか、メールにて厚生労働省までお知らせください。これは、海外に転居する場合も同様です。(厚生労働省のメールアドレスはP.4をご参照ください。また、令和8年1月24日以降は、今までのフリーダイヤル番号(P.4)は使用されませんので、ご注意ください。)

なお、令和8年調査(第16回)の実施以降のご連絡先については、別途、文部科学省からお知らせいたします。

Q8 この調査はいつまで続きますか？

A 現時点では、いつまで続けるかは決まっておりません。

この調査は同じ方に継続して回答いただくことで、誕生から就学・就職までの環境や行動の変化を捉え、統計的に把握・分析することを目的としております。

長きにわたりご協力をお願いしておりますが、調査の特性や目的をご理解いただき、何卒ご協力をお願いいたします。

Q9 4月から子どもが寮に入る（または一人暮らしを始める） 予定です。親と一緒に暮らしていない場合でも回答は必要 ですか？

A 進学や就職等により、お子様がお母様やお父様と同居していない場合は、お子様にID・パスワードをお伝えいただいた上で、オンライン調査をご利用ください。

なお、紙の調査票で回答したい場合は、回答できる項目のみで構いませんので、お母様またはお父様にてご記入いただきますよう、お願いいたします。

令和6年にご回答いただいた結果を
令和7年5月13日に公表しました。
その一部について、ご紹介します。

「第14回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の概況」

○ こどもの悩みや不安

「悩みや不安がある」の割合は、第14回調査のほうが第13回調査より高く、特に深い悩みや強い不安の内容は「学校や塾の成績に関すること」が最も高くなっている。また、相談する相手は「お母さん」「友人」「お父さん」の順で高くなっている。

○ 家庭での会話とこどもが考える将来

将来や進路のことに関する母、父との会話の状況とこども自身が考える将来をみると、将来を「具体的に考えている」は「具体的にはまだ考えていない」と比べて、「会話をする」の割合が高くなっている。

※ 詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。

引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【お問い合わせ先】

21世紀出生児縦断調査コールセンター

フリーダイヤル 0120-415-822

受付時間 平日：午前9時～午後7時

土日祝日：午前9時～午後6時
(12月29日～1月3日は休み)

開設期間 令和7年12月1日～令和8年1月23日



※ 住所・氏名の変更や誤りがある場合は、同封の「住所変更連絡用はがき」でご連絡ください。E-mailまたはお電話でも受け付けております。
なお、令和8年1月24日以降は、上記のフリーダイヤル番号は使用されません
ので、ご注意ください。

E-mail b-cohort@mhlw.go.jp